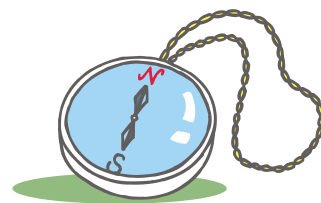


# 羅 針 盤

第 19 号 令和6年11月11日（月）



## ◆ あなたは、今何時？

3年生の生徒の皆さんは、既に先週から進路懇談が始まりました。3年生は当然のことですが、1・2年生の皆さんにも、この機会に自分自身の将来に向けた展望をしっかりと考えてもらいたいと思います。さて、最近の統計によると、国民の平均寿命は、男性で80歳を、女性では85歳を超えているようです。長い人生を、幸せに過ごしたいと願う気持ちは、誰もが同じです。「人の一生」は、「一日の時間」によく似ていると言われます。平均寿命をもととして、人の一生を概ね80年として一日の24時間に当てはめて考えてみると、例えば24歳は朝の7時過ぎ頃となります。24歳と言えば、ほとんどの人が何らかの職業に就いている年齢ではないかと思います。午前7時過ぎ、これから職場に向けて、朝の支度を終えて、家を出ようかといった時間ではないでしょうか。エネルギーをしっかりとチャージして、いよいよ本格的に一日がスタートするといった時間であると考えていいと思います。同じように、多くの人が定年退職を迎える60歳、一日の時間で例えると午後6時となります。一日の仕事を終えて、帰宅する時間です。この後の時間は、家でほっとくつろぐ時間といったところでしょうか。いずれにしても、これらの状況は、一日の時間の経過によく似通ったところがあるように思います。それでは、生徒の皆さんはいったい今何時頃なのでしょう。20歳で、ちょうど朝の6時となり、これから起き出して一日の活動をさあ始めようかといった時間です。13歳から15歳の君たちは、まだ朝の5時前の時間帯です。睡眠をしっかりと取っている真っただ中です。起きてから始まる一日の活動のためのエネルギーをしっかりと蓄えている時間帯です。十分な睡眠があってこそ、素晴らしい一日のスタートを切ることができるはず。そして蓄えるための「十分な睡眠」、これらは今の皆さんにとって言うならば、「正しい知識」とそのための「学力」と捉えてもいいのではないのでしょうか。多くの学びの中から正しい知識を得ること、そして、努力を惜しまない結果として得た学力であるはず。自分自身の意思決定のもとで、進むべき方向性を見つけ、そのために懸命に努力することの重要性が今の君たちに求められていることは、確かなことです。「人生時計」という視点から見えてくるもの、それは、まだまだ迷うことがたくさんあるけれど、着実に自分が描く未来像に少しでも近づけるように、準備を始めていくことではないかと思います。これから先の人生で、方向修正をすることは、誰もが何度も繰り返していくことです。それでも、自分の考えといったものをしっかりと持って、進むべき方向性を見つけることが何よりも大切なことだと思います。自分自身の持つ時間を無意味につぶすことや、自ら自分の時間を止めてしまうことが、どれだけ残念な結果を招いてしまうかは君たち自身にもわかりきったことのはずです。誰もが持つ自分自身に秘められた可能性を信じて行動してもらいたいと思います。時間を取り戻すことはできないことです。それでも、時間を上手に活用することは、工夫次第で誰でもできるものだと思います。3年生の皆さんだけでなく、1年生や2年生の皆さんも、やがては中学校を巣立っていくこととなります。そのときに、誰もが希望する「進路」を自らの手で勝ち取って、胸を張って卒業されていくことを、心から願っています。

